

音楽と文化の根ざす街

あい おい

「相生」をめざして

～身近な存在・音楽は自分たちの手で～

2003年6月策定

相生On楽工房

はじめに

我が町相生市は、造船の街として長く栄えましたが、昨今市民のなかから「相生は大好きだけれど、となりまちのにぎやかさに取り残されてしまっている」といった、さみしい言葉をよく聞きます。市政に新しく取り入れられた活性化協議会の報告をみても文化を起こしていこうという声があり、助成金制度を設けて青少年のグループを募集するなどの新しい試みがなされています。今ほど相生に文化を息づかせる声が高まった時期はないのではないのでしょうか。

まちづくりを草の根運動的にはじめるには、まず人と人とのつながり、そして人づくりが基本になると考えますが、われわれ「相生On楽工房」は音楽というキーワードを根幹としてまず人と人とのネットワーク作りに取り組みます。相生には、ミュージシャンがいない？とんでもない。相生には才能と熱意が溢れた人材が埋もれています。ただ、市内に発表の場が少なく、また若い人たちが入っていける行事や受け入れ窓口がないのが現実なのです。現に姫路をはじめとする市外や京阪神を活動の場とする若者もおりますが、市民には殆どその存在を知られていません。われわれは、まず彼らを結びつけるネットワーク作りをはじめます。そして発表の場の提供と、他市の同様なグループとの交流を通じて活動のバックアップをしていきたいと考えています。

また、市民の中にはいわゆる「中年バンド」的な趣味のグループも存在します。もちろん市内の学校内には軽音楽部や同好会的な存在のバンドもあるでしょう。それに加え、音響設備や照明設備・企画など音楽活動の周辺に興味を抱く人たちも少なからず存在し、ボランティア的な協力が得られる場面も現実にあるようです。彼らは本格的なコンサートにはなかなか出にくいものの、気楽に出ていける発表の場があれば、きっと出てきてくれると考えています。

相生の次世代を担う若者たちと、いま相生を何とかしなければならぬと痛切に感じている人々が、「音楽」という縦糸で結びつくことによって若者達の音楽文化そして音楽が大好きな大人の文化を共に育てていくことを目指してみようと思います。

関係各位に置かれましては、我々の趣旨・目的をご理解いただきまして、何卒絶大なるご協力・ご支援を賜りますようお願い致します。

相生On楽工房 - 事務局

代表 久保田 肇

広報 田中 健二

渉外 吉田 裕一

活動内容

1．草の根自主コンサートの開催

相生には残念ながらライブハウスなど軽音楽演奏を定期的に楽しめる場所が全くありません。音楽協会やホールなどは主にクラシックや演劇を、市の協賛を得て開催されておりますものの、ロックバンドやフォークバンドなどの発表の場はほぼ皆無であります。

そこで、たとえば、隣家に迷惑にならぬような場所を使い（たとえば岩屋谷公園屋外ステージ）自主的にコンサートの場を設けます。音響設備と楽器についてはボランティアと各バンドの持ち寄りとし、入場料も徴収しません。参加者は、飛び入りokで、近所のお父さん達とか中学生がギター1本で歌を歌うなどもok。またゲストとして姫路方面からのミュージシャンの招聘も計画しています。

（この点に関しては姫路ミュポップ事務局や姫路スターライオンズクラブと連携します）

2．市内行事への参加窓口としての機能

相生各地で行われるイベントや、慰問活動の「軽音楽グループ」ネットワーク側の窓口としての組織として機能します。市や自治会・各団体が主催するイベントに於いて、ロックグループやフォークソングなどの演奏者を探し求める際の窓口になり、我々側からはデモテープや演奏者のプロフィールなどを紹介してグループの演奏の場を提供します。主催者側は探し回る手間が無くなると共に安心して見知らぬバンドでも招聘できるという形にしたいと考えます。

3．対外活動として

まず最近、姫路に発足したミュポップ姫路（別掲）の協力の下、ミュージシャンの育成、練習場所・録音場所（CD製作まで）を確保するためのパイプを作ります。また相生に存在する企業に呼びかけて、

1）企業内イベントへの参加（無料のバンドを呼びましょう）

2）CMソング作りませんか？（FM曲、サンテレビ）

を呼びかけます。

4．音楽活動の啓蒙

若い頃にはギターやってました、ピアノ弾いていました、バンドやってました、という中高年は案外結構存在しています。でもいまさら・・・忙しくて・・・でもやりたい気持ちはある。ならば一緒にやりませんか？

音楽好きな中高年のための、楽器始めましょう運動を展開します。実は我々も若い頃を思い出して去年から始めているのです。